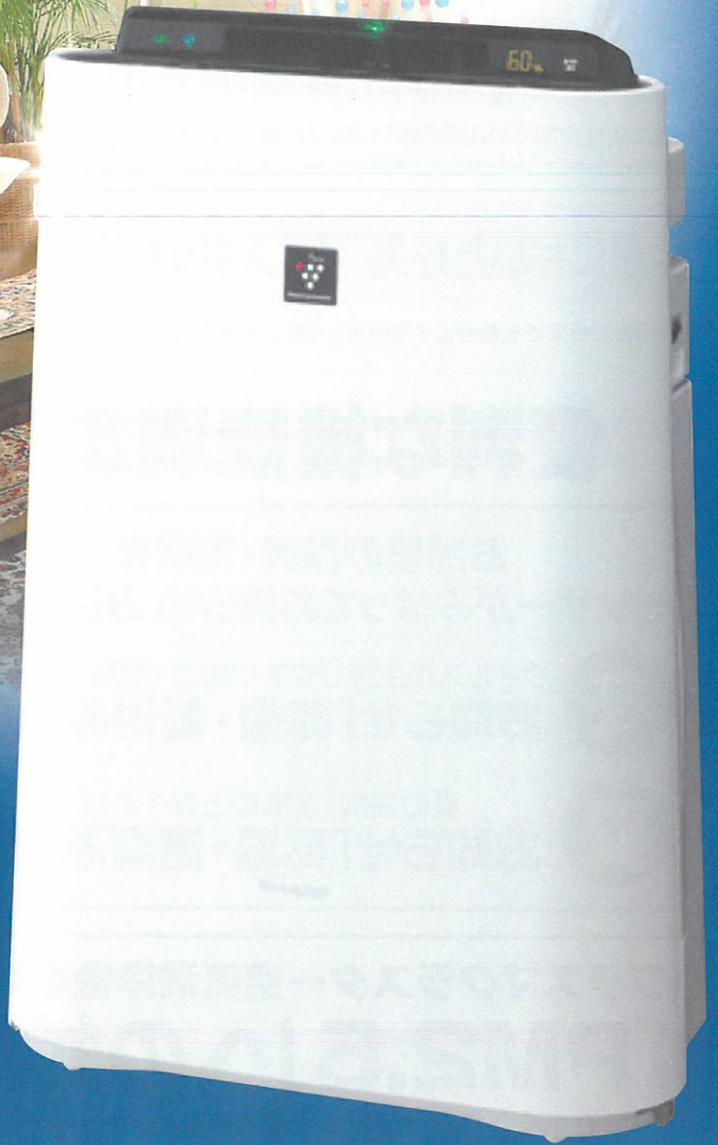


空気の汚れを集中的に浄化!!

加湿空気清浄機

高濃度プラズマクラスター7000搭載*で
「空気浄化」&「脱臭」



広いお部屋に

おすすめ畳数^{※1}

~約**17**畳

(加湿空気清浄時/プレハブ洋室)

大風量吸引

最大風量

6.8m³/分

(空気清浄運転時)

強力加湿

加湿量^{※3}

600mL/h

すばやく浄化

8畳のお部屋の
清浄スピード^{※2}

約**12**分

(加湿空気清浄時)

シャープ 加湿空気清浄機

KC-D70-W(ホワイト系)

オープン価格 外形寸法(mm)/幅420×奥行242×高さ637

特価 32,800円 (税別)

チラシ有効期間 2014年11月20日~2015年2月末日まで

*当技術マークの数字は、加湿空気清浄機/空気清浄機を壁際に置いて、風量「中」運転時に高濃度プラズマクラスター7000適用床面積の部屋の中央付近(床から高さ1.2m)の地点で測定した空中に吹き出される1cm³当たりのイオン数値の目安です。 ※1.適用床面積の目安は、日本電機工業規格<JEM1467>に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし木造和室の場合を最小面積としたものです。ただし、運転モード、壁、床の材質、部屋の構造、使用運搬機器等によって適用面積はことなりますので、販売店にご相談ください。 ※2.清掃時間算出条件について、<適用床面積とは>日本電機工業規格<JEM1467>にて規定されている項目で、自然換気回数1(回/時間)の条件において、粉じん濃度1.25mg/m³の空気の汚れを30分でビル衛生管理法に定める0.15mg/m³まで清掃できる部屋の大きさを基準として定めている。<各畳数での清掃時間の算出>上記規定により、各畳数での粉じん濃度を1.25mg/m³から0.15mg/m³、すなわち初期濃度の12%の粉じんになるまでの時間を算出している。 ※3.日本電機工業規格(JEM1426)に基づき室温20℃、湿度30%での試験方法により算出。空気清浄運転時も水は減り、若干加湿します。



プラズマクラスターが空気の悩みに応えます

プラズマクラスターは、シャープだけ。

さまざまな業種の企業で採用されています。

浮遊カビ菌^{*1}を除菌

約31m³(約8畳相当)の試験空間での約195分後の効果です。

浮遊菌^{*2}の作用を抑える

約40m³(約10畳相当)の密閉した試験空間での約38分後の効果です。

ダニのふん・死がいの

浮遊アレル物質^{*3}の増加を抑える

約8畳の居住空間での4週間後(1日24時間)の効果です。

タバコの付着臭^{*4}を分解・除去

約41m³(約10畳相当)の試験空間での約80分後の効果です。ニオイの種類・強さ・対象物の素材などによって、ニオイ除去効果は異なります。

衣服に付いた汗臭^{*5}も「スポット消臭」

約6時間後の効果です。吹き出す風の当たらない部分のニオイは取れません。

静電気^{*6}を抑え、ホコリなどの付着を抑える

約41m³(約10畳相当)の試験空間での効果です。

便利な機能満載!

お部屋の温度・湿度を
センサーがみはってお知らせ、みはり機能



ウイルスが生存しやすい温度・湿度をみはって
お知らせ「乾燥・低温みはり」



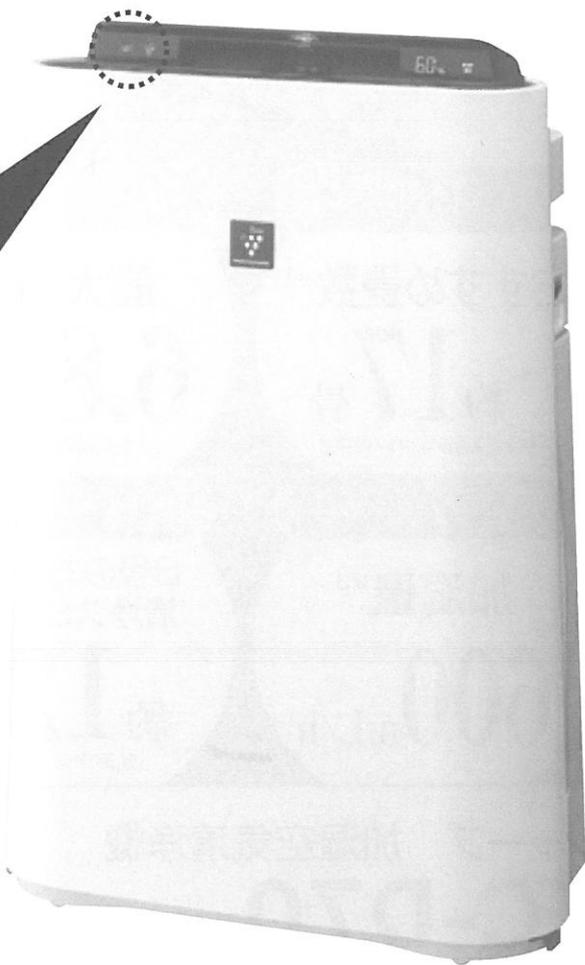
夏の温度・湿度の上昇をみはって
お知らせ「高温・高湿みはり」

プラズマクラスター空気清浄機本体で 「PM2.5」への対応

0.1~2.5 μmの粒子を99% キャッチ^{注1}

(換気扇による屋外からの新たな粒子の侵入は考慮していません)

- PM2.5とは、2.5μm以下の微小粒子状物質の総称です。
- この空気清浄機では0.1μm未満の微小粒子状物質については、除去の確認ができていません。また、空気中の有害物質のすべてを除去できるものではありません。
- 32m³(約8畳)の密閉空間での効果であり、実使用空間での結果ではありません。



※1. ●試験機関：(財)石川県予防医学協会 ●試験方法：約31m³(約8畳相当)の試験空間にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアースランブラーにて測定。(プラズマクラスターイオン濃度：3,000個/cm³) ■試験結果：約195分で除去率99%。 ※2. ●試験機関：米国ハーバード大学公衆衛生大学院 名誉教授メルビン・ファースト博士 ●試験方法：約40m³(約10畳相当)の試験空間に、ある1種の菌を浮遊させ、プラズマクラスターイオンを放出。菌を回収し、空気中の菌除去率を測定。(プラズマクラスターイオン濃度：4,700個/cm³) ■試験結果：約38分で99%抑制。 ※3. ●試験機関：広島大学大学院 先端物質科学研究科 ●試験方法：掃除をしない実際の居住空間(約8畳)での浮遊ダニのアレル物質の作用をELISA法で測定。その増加量を算出。(プラズマクラスターイオン濃度：3,000個/cm³) ■試験結果：4週間後にダニのアレル物質の増加を抑制することを確認。 ※4. ●試験機関：当社調べ ●試験方法：約41m³(約10畳相当)の試験空間にて、タバコのニオイ成分を染み込ませた布片にプラズマクラスターイオンを照射し、脱臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価。 ■試験結果：プラズマクラスターイオン濃度：7,000個/cm³の場合、約80分で気にならないレベルまで脱臭。 ※5. ●試験機関：当社調べ ●試験方法：汗のニオイ成分を染み込ませた布片にプラズマクラスターイオンを集中的に照射し、脱臭効果を6段階臭気強度表示法にて評価。(プラズマクラスターイオン濃度：スポット100,000個/cm³) ■試験結果：約6時間で気にならないレベルまで脱臭。 ※6. ●試験機関：当社調べ ●試験方法：約41m³(約10畳相当)の試験空間にて、JIS TR C 0027-1を参考にして5kVに帯電させた金属製検知板にプラズマクラスターイオンを照射し、0.5kVまで除電するのに要する時間を測定。 ■試験結果：プラズマクラスターイオン濃度：7,000個/cm³の場合、約10分で初期電位5kVが0.5kVまで減衰。
注1. 試験方法：日本電機工業会 自主基準(HD-128) 判定基準：0.1~2.5 μmの微小粒子状物質を、32 m³(約8畳)の密閉空間で99%除去する時間が90分以内であること。
<32 m³(約8畳)の試験空間に換算した値です>